

carewill

脳卒中（脳梗塞）による片麻痺、亜脱臼、腱板断裂/損傷、肩痛、骨折、頸肩腕症候群、リウマチなど

肩や腕が辛い、だるい、冷える方へ 三角巾と一体化した **アームスリングケープ**

ご利用者様 累計 **310**名 突破！川崎市『かわさき基準福祉製品2022』認証！



GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞



首を痛めない

内部のゴム素材が、腕の荷重を均等に両肩へ分散します。だから三角巾のように首を痛めません。



疲れにくい

保護が必要な腕のひじから指先を『内袋』がやさしく包み込みます。腕をゆったりとゆだねられるから、長時間着ても疲れません。

首と肩まわりが あたたかい

すっぽりと羽織れるケープ式。外からの冷気が中に入りません。夏の冷房下でも、冷気から身体を守ります。

冷え性の方にもおすすめです。

スタイリング しやすい色とデザイン

コーディネートしやすいデザイン。ネイビーとグレーの2色から選べます。内袋を使わなくてもおしゃれなケープに、寒さ対策の肩あてとしても着れます。



《着用手順》

10秒でパッとおしゃれな装い！



内側にある袋に患側の腕を通す



襟ぐりをつかんで首に通す



肩まわりを整える



後ろ身ごろを整える



完成

詳細情報

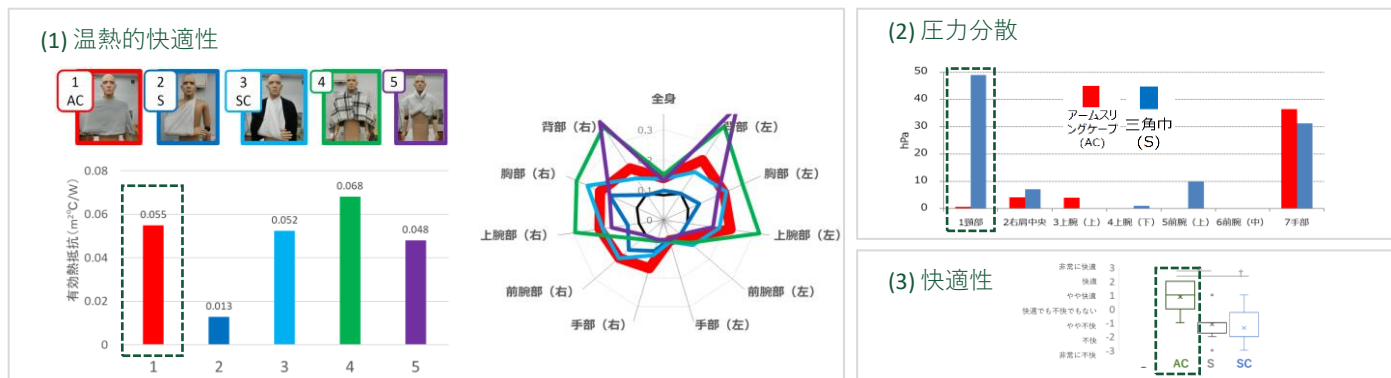


『三角巾よりも格段に温かく、首への負担がなく、快適』

共同研究者



学会・第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
発表・オーストラリア作業療法学会(OTAUS) 2023
・2023年日本繊維製品消費科学会



《利用者様の声》

リハビリもお出かけも

栃木県 松崎 真理様
(石灰沈着性腱板炎)

2度の手術後、長引く治療を続ける際に着る物に大変苦労していました。このケープは一枚でリハビリや注射治療を受け易く、不自由かつ痛みのある腕を安定させる事ができ、何よりも、オシャレで外出時や普段着として着用、今では出掛ける時に着る物に悩む事もなくなりました。



母へのプレゼントに

東京都 大西 武史様
(御義母様が腱板損傷)

肩の腱を痛め家事が一切できなくなった義母。精神的にも辛そうで、何か少しでもサポートできないかと思いケープを贈りました。義母曰く「使いやすさ、デザイン、生地質、保温性の全てが素晴らしく、完璧」とのこと。電話のアフターケアも優しく細やかで、選んで本当に良かったです。



《リハビリ専門職の声》

生活に寄り添う服

群馬県 久保 一樹様
(堀江病院 理学療法士)

怪我や麻痺で三角巾やスリングを使用する方から「上肢が不安定」「上着が着れず寒い」という話を聞きます。上肢が不安定なのは固定部位が肩や首のみで、支える面が狭いことが考えられます。また、上着が着れないことで、体が冷え、肩の痛みや全身の筋肉の硬さが助長されることが予想されます。このケープは肩関節全体が包まれることで上肢が安定し、暖かく過ごすことができます。理学療法士の視点からもオススメです。



ネットで買える！

ふるさと納税、海外発送も

carewill

amazon

YAHOO! JAPAN

ふるなび

株式会社ケアウィル
carewill.co.jp
〒170-0003
東京都豊島区駒込4丁目2-24



[トップページ](#)
[研究事例紹介](#)
[支援事例紹介](#)
[設備紹介](#)
[技術紹介](#)
[事業紹介](#)

服の不自由を解消する「アームスリングケープ」を臨床との連携で開発。患者のQOL向上を目指す

[通常ページへ戻る](#) 更新日：2023年5月1日更新


都産技研と医療法人三省会堀江病院（以下、「堀江病院」）は、株式会社ケアウィルが開発した『アームスリングケープ』というケア衣料について、身体・感覚に与える影響の定量的な評価に取り組みました。基礎データを得ると共に、QOL向上のための次なるデザインを模索する上で、製品の可能性を広げる取り組みとなりました。本研究について、株式会社ケアウィル 代表取締役の夏沼 清紀 氏、堀江病院 リハビリテーション科理学療法士の久保 一樹 氏、墨田支所の山田 巧 主任に話を聞きました。

服の不自由を解決するケア衣料の開発

株式会社ケアウィルは、“日常的に使えるケア衣料の開発”を手掛けています。当初は入院介護患者向けのオーダーメイド衣服を提供していましたが、コロナ禍の影響で個別対応が難しくなり、方向転換しました。

「傷病や障害度数、病院や施設の中など、症状や場所を問わず、おしゃれて幅広く着られるような、患者さんの服の不自由を最大公約的に解決する製品をつくらうと思いました。脳卒中による片麻痺や骨折・脱臼患者向けに、一人でも片手で着脱が可能で、腕を保持する腕帯が目立たない、三角巾とケープが一体化したアームスリングケープの開発をスタートさせました」（夏沼氏）



アームスリングケープ

その後、都内中小企業の経営支援を行う東京都中小企業振興公社からの紹介により、都産技研が開発の技術支援を行うことになりました。墨田支所では、「人間にとっての使いやすさ」、「快適・安全・健康」に配慮した製品開発、高付加価値なものづくりに取り組んでいます。快適感や生地の通気性などの人の着心地に関する素材評価を担当していた山田主任が、衣服の温熱特性の評価などの技術支援で夏沼氏から相談を受けたことをきっかけに、研究開発に発展しました。一方、理学療法士の久保氏も、以前より患者用の衣服に関して課題を感じていました。

「三角巾に関して、“一人で巻けない”、“防寒性が弱い”、“首の結び目が痛い”などといった患者の訴えが多く、その解決策を模索していました。今回の共同研究の成果によって、患者の不自由を解決し生活が豊かになればと思い、リハビリテーション専門職の観点からご協力させていただくことになりました」（久保氏）

製品開発者・理学療法士・被服学研究員の連携により、製品特性の定量的な評価を実現

2021年11月の販売開始以降、ケアウィルの製品を購入したお客さまからは、“温かく感じる”との意見が多数寄せられていました。本研究は、なぜケアウィルのアームスリングケープを温かく感じるのか、その根拠を明確にすることを目的に始まりました。臨床（医療の現場）における被験者実験による評価、サーマルマネキンによる温熱特性評価により、患者のQOL向上を目指すとともに、次期モデルの開発のための最適なデザインを探る取り組みです。



アームスリングケープ



三角巾



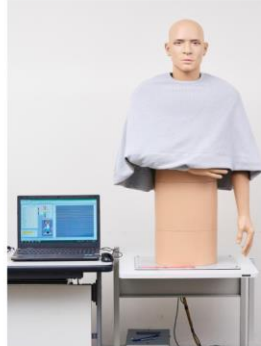
三角巾+カーディガン

アームスリングケープの温かさは防寒アイテムと同等

臨床研究では、“アームスリングケープ”、“三角巾”、“三角巾+カーディガン”という3種類の着用条件で、被験者実験を実施しました。久保氏が筋硬度の測定と官能評価を担当し、山田主任は皮膚温計測、ケアウィルでは着用後のヒアリングを行った後、具体的なフィードバックとデータを収集していきました。検証の結果、アームスリングケープのほうが温かいという感覚（心理反応）の統計的な差は認められたものの、肩の温度や筋硬度など（生理反応）に有意な差は認められませんでした。その後、“なぜ温かさを感じるか”を定量的に把握するために、都産技研のサーマルマネキンによる温熱特性評価を行いました。

サーマルマネキンは人と同じように発熱するマネキンです。部位（胸、上腕、前腕、手首）ごとにヒーターがあり、部位ごとの保温性がわかるため、具体的にどの部分の保温性が高いのか、定量的に示すことができます。最初の3種類の着用条件に、さらに“フリースブランケット”や“ダウン”を加えた5種類の着用条件で、身体の中のどの部分が温かいのかを定量的に示すデータを取得しました。その結果、全体的にはアームスリングケープが防寒アイテムと同等の温かさを持つことが示されました。身体の中のどの部分の保温性の結果では、未精までケープで包んで温まっていることがわかり、なぜ人はアームスリングケープを温かいと感じるのか、その要因が明らかになりました。

「動作安定性の検証では、墨田支所の衣服圧測定装置を活用しました。衣服圧測定装置は、靴下やストッキングの足首周りやふくらはぎ周りの圧力を測る装置ですが、今回はその装置を応用して、人体側に係る圧力を測定しました。結果として、結果として、首の部分への圧力が最も高く、三角巾の結び目の痛さを再現するデータが得られました」（山田）



サーマルマネキン「Sumio」

広がる次作の可能性。医療・介護業界のさらなる発展に寄与

「被験者実験と試験機による評価のおかげで、製品の特性としてお伝えしている部分を科学的に立証できました。さらに、改良版の製品開発をしていくうえでのアイデア、改善のための具体的なポイントを検討でき、実りのある取り組みになったと思います。今後は、弛緩性麻痺患者や回復期に使われる現製品の次の製品として、傷病して間もない急性期や整形外科疾患の患者のための、ホールドを強くした製品の開発を考えています」（笈沼氏）

本研究の成果はすでに、久保氏により2022年11月の日本リハビリテーション医学会秋季学術集会で発表され、今後も各学会・協会での発表を予定しています。

「これを機にアカデミックな学会発表でも、アームスリングケープの認知が高まってほしいですね。アームスリングケープの技術を広くPRすることで、患者のQOL向上のための製品開発や研究が、被服分野でも深まってほしいなと思います」（山田）

[ツイート](#) (外部リンク)



(左から)

地域技術支援部 墨田支所 主任 山田 巧

株式会社ケアウィル 笈沼 清紀 (おいぬま きよのり) 氏

医療法人三省会郷江病院・リハビリテーション科 久保 一樹 (くぼ かずき) 氏

関連情報

- [なくしたい、服の不自由 | ケアウィル](#) (外部リンク)
- [郷江病院 | 群馬県太田市 \(horie.or.jp\)](#) (外部リンク)
- [墨田支所 - 都産技研ホームページ \(iri-tokyo.jp\)](#)

carewill

乾燥機でつかえる

自立する、
丸ごと洗える



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

洗濯ネットバッグ

ご利用者様 累計 **500**名 突破

Makuake STORE

売上ランキング **3**位



OMOTENASHI
SELECTION
2022

ANA 賞受賞



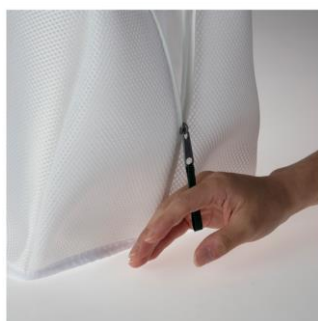
床に自立する

洗濯前の脱衣場と洗濯後の物干場で自立と開口を維持し、洗濯ネットでありながら脱衣かごの役割を果たします。



洗濯物が絡まない

丸い形状で型崩れしづらい素材のバッグは洗濯機の動きに抗わないので、服の絡まりを防止します。



なめらかな開閉

かばんメーカーならではの布地を噛みにくい縫製と丸みに沿ったファスナーはなめらかに開閉できます。



片手で運べる

前腕を通せる大きさの持ち手なので、洗濯機から取り出しやすく、片手で持ち上げ、手に提げて持ち運べます。

《利用者様の声》



関節リウマチの方にも
やさしいバッグ
(大久保 千秋)

今までは厚みがない洗濯ネットの、小さいつまみで直線のファスナーの開け閉めは、指先・肩の関節の痛みを伴い憂鬱そのものでした。でもこの製品は丸い。指でファスナーを挟み、もう片方の手でバッグをくるくる回せば閉められます。でっぱり部があるので、指でつかまず“挟めます”。また、微調整して下さり秋冬物が1日分入るいいあんぱいのサイズ。家族でバッグを分けたり、お子さんがサッカーに行く時に着替えや靴を入れるのもいいですね。



片手オペ・育児ママ
もおすすめします
(大谷 美保子)

抱っこしながら服を洗濯ネットに入れたり、しがみつかれて動きにくい状態で洗濯機から出し入れすることにストレスがありました。この製品はファスナーつまみ部分の紐が掴みやすく、生地とが噛むこともないので、スムーズに開閉できます。洗濯中に他の洗濯物と絡まないのですっきり取り出してそのまま持ち運べます。絡まりを解いたり、かごに移す手間が省けて楽だし時短ができます。見た目もコロンとしたフォルムで可愛く、長く使えそうです。

《リハビリ専門職の声》



作業療法士も
おすすめします
(高橋 晴香)

洗濯ネットには、ファスナーをつまむ、洗濯ネットを開きながら服をいれる両手動作、絡まりあった洗濯ネット同士をほどくといった動作があります。この洗濯ネットバッグは、バッグ自体が自立するため片手で服を出し入れでき、片手かつ弱い力でもファスナーを開閉できます。また、持ち手を肘にかければそのまま洗濯かごとして、片手で杖をつけていても運ぶことができます。小さな工夫ですが、結果的に洗濯という作業の効率化や安全性が高まると思います。

《製品仕様》



サイズ： 縦30cm-横28cm-高さ30cm
容量： 7.0リットル
素材： ポリエステル100%
重量： 150g

《海外でも大反響！》

Caring design

Though not specifically designed as a travel product, the Carewill Laundry-net Bag is just as useful on a trip as it is at home. A winner of the Omotenashi Selection Special Distinction ANA Award, it's also a good example of effective universal design.



Designed by Desuke Kameda and Ken Okamoto Design Office for Carewill Inc., the Laundry-net Bag can be used as a full of clothing and tossed into a washing machine as is. COURTESY OF CAREWILL & SHOOTING SELECTION

Carewill is a brand with a unique objective: "to solve the inconvenience of clothing." Since 2020, the company has launched a cape and a shirt to aid people with arm injuries or disabilities. Its Laundry-net Bag (¥4,400) was developed to make washing clothes easier for those suffering limb and joint mobility issues, such as rheumatism, partial paralysis or injuries.

旅行バッグにもピッタリ！

thejapan times

THE INDEPENDENT VOICE IN ASIA

ジャパンタイムズ2023年2月号
"Japan's award-winning travel goods
make any trip a breeze"

Designed by Ken Okamoto Design Office, the Laundry-net Bag is a 30-centimeter-tall tote that can be used as a laundry basket before being tossed — with clothing inside — straight into the washing machine. The bag opens out wide to stand upright on its own and can hold up to a day's worth of clothing before being zipped shut and washed. According to Carewill, washing garments inside the bag prevents them from getting tangled, making it less strenuous to sort and hang laundry later. The bag's handles also allow it to be easily removed from the machine, while its lightweight netting is flexible enough to fold for compact storage.

Aesthetically, it's simple, a little like a net version of an old-fashioned bowling bag. Its functionality of design, however, won't it only an Omotenashi Select award, but also a 2022 Good Design Special Award.

ネットで買える！

海外発送も承ります！

carewill amazon YAHOO! JAPAN Makuake STORE

株式会社ケアウィル
carewill.co.jp

〒170-0003
東京都豊島区駒込4丁目2-24



法人ご購入・サンプル貸与実績

・病院、施設、事業所

タムス浦安病院(千葉)
湘南慶育病院リハビリテーション科(神奈川)
堀江病院リハビリテーション科(群馬)
黒木記念病院(大分)
つくばセントラル病院リハビリテーション科(茨城)
西広島リハビリテーション病院(広島)
岡山赤十字病院(岡山)
TSOC: 東京スポーツ&整形外科クリニック(東京)
霞が関南病院リハビリテーション科(埼玉)
南東北春日リハビリテーション病院(福島)
さくら苑(福岡)
脳梗塞リハビリセンター ストロークジム(北海道)
脳梗塞リハビリセンター福岡(福岡)
金沢脳神経外科病院(金沢)
川崎協同病院(神奈川)
薬園台リハビリテーション病院(千葉)

和仁会病院リハビリテーション科(長崎)
秋田県立病院(秋田)
平田東九州病院(宮崎)
グループリビングとくしま県庁前(徳島)
グループホームつなぐ(神奈川)
川崎市北部リハビリテーションセンター(神奈川)
川崎市中部リハビリテーションセンター(神奈川)
川崎市南部リハビリテーションセンター(神奈川)



・養成校

大阪公立大学(大阪)
和歌山リハビリテーション専門職大学(和歌山)
帝京平成大学(東京)
麻生リハビリテーション大学校(福岡)
鈴鹿医療科学大学(三重)
宮崎保健福祉専門学校(宮崎)
日本リハビリテーション専門学校(東京)
首都医校(東京)



・展示場、福祉用品・サービス事業者

志賀ガス リフォーム事業部(福岡)
サニクリーン九州 福祉用具サービス(福岡)
金沢福祉用具情報プラザ(金沢)
INOWA(東京)



病院施設向け研修会、学会発表、講義実績

最新情報は
こちら



- 2023年10月 秋田県作業療法士会トピックス 研修会(秋田)
『服の不自由を考えるワークショップー生活のニーズから不自由を解消する』
- 2023年9月 女子美術大学 共創デザイン学科 講義 『"もの"の不自由を想像する』
- 2023年7月、12月、 首都医校 講義(東京) 『生活支援機器学』
- 2023年7月 オーストラリア作業療法学会 AUOTS2023 発表(オンライン)
“Impact of Adaptive Clothing on Physical and Mental Wellness”
- 2023年5月 川崎協同病院(神奈川)研修会 『服の不自由ケーススタディ』
- 2023年3月 南東北春日リハビリテーション病院 研修会(オンライン) 『服の不自由ケーススタディ』
- 2023年2月 九州作業療法士会会長会 リーダー養成研修会(オンライン)
『起業家に学ぶリーダー論 ～不確実性を乗り越え、レジリエンスを育む』
- 2022年12月 湘南慶育病院(オンライン) 『おしゃれ(装うこと)&リハビリテーション』
- 2022年12月 オンライン臨床研究大会 発表 『臨産連携とクライアント中心のデザイン』
- 2022年11月 日本リハビリテーション医学会秋季集会 発表(岡山)
『アームスリングケープの温熱的快適性と心身に与える影響』
- 2022年9月 黒木記念病院 研修会(オンライン) 『ICFに基づく「服の不自由」評価ケーススタディ』
- 2022年7月 リハノメ 講義(オンライン) 『生活における新たな服の選択肢～服の不自由を解消する～』
- 2022年7月 宮崎身障勉強会 研修会(オンライン) 『服の不自由』勉強会
- 2022年4月 宮崎身障勉強会 研修会(オンライン) 『ケア衣料とローカルOTの未来を問う』
- 2021年12月 東京モード学園産学連携ケーススタディ 講義(東京) 『ケア衣料と機能デザイン』
- 2020年10月 日本リハビリテーション看護学会 発表(オンライン)
『リハビリシャツが患者の自立へ与える影響』

P38-10 アームスリングケープの温熱的快適性が心身に与える影響

堀江病院リハビリテーション科、²地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター地域技術支援部墨田支所、株式会社ケアウィル研究開発グループ



○久保 一樹^{1,2,3}, 大橋 優郁¹, 山田 巧², 笈沼 清紀³

【背景・目的】

三角巾(以下、S)は、上肢の外傷時や麻痺後の亜脱臼防止に用いられるが、寒い、不安定、肩が疲れるといった声が聞かれる。この課題解決のため、独力で着脱が可能であり支持面が広いケープとアームスリングが一体化したアームスリングケープ(以下、AC)に着目した。本研究は、ACが心身に与える影響を調査し、生活支援の手がかりを検討することを目的とした。

【方法】

試験対象者は成人女性8名(平均33.3歳)とし、着衣条件はAC・S・三角巾+カーディガン(以下、SC)とした。測定は各条件を着用し30分間安静座位で過ごし、前後の僧帽筋の筋硬度と近傍の皮膚温を計測した。着用後に主観的評価で温冷感・着用感・安定感を聴取し、各結果は多重比較検定を実施した。倫理的配慮は、ヘルシンキ宣言に基づき対象者に説明と同意を得ると共に当院倫理審査の承認を得た。

【結果】

各着用条件での皮膚温度はAC、Sとも平均+1.6℃、SCで+1.8℃の変化がみられた。筋硬度の差はAC:-0.8、S:0.6、SC:-0.8であった。主観的評価において温冷感AC-S間とS-SC間で、着用感AC-S間とAC-SC間、安定感AC-S間とAC-SC間で有意な差が認められた。

【考察】

主観的評価では、ACは暖かく安定していたという回答が多く快適性が高かったことから、これまでの悩みは感覚的に解決できると示唆された。皮膚温と筋硬度で着衣による有意な差が見られなかったが、これはACの固定性に個人差があったことやAC着用時に暖かく発汗した影響が考えられる。今後は回復期から生活期の衣服として効果的な活用が望まれる。

作業療法ジャーナル 2022年8月号

ファッションとリハとのコラボが生むもの

竹林 崇
(大阪公立大学、作業療法士)

笈沼 清紀
(株式会社ケアウィル、代表取締役)

大門 恭平
(SDX 研究所、理学療法士)



■クライアントのファッションという価値観に寄り添う「作業療法」

竹林 崇

一般には、地理的条件、性別、年齢、社会的地位、職業、思想、嗜好等のさまざまな条件のどこかに重きを置き、自分が着用する服を決めている。所属する組織や空間のルールに則り、その重み付けがなされる場面も限定的にあるものの、その重み付けは個人によってさまざまであり、個人的価値観を示す象徴の一つである。

さて、多様性が謳われる近代において、多様な個性に対応するファッションも注目されて然りである。それは、障がいと共に生きる方々も同様で、その個性やニーズに応えるインクルーシブ、アダプティブファッション(図)が必然となる。

世界の潮流の中でも、この変化は明らかで、アダプティブウェアのブランド「RESET」の創始者である Monika Dugar は、自身の父の介護の体験から、本人と家族にとって、「衣服のちょっとした変化が人生を大きく変える」と述べている¹⁾。デザイン性と機能性の双方を有した衣服で、障がいと共に生きる方々のニーズに応えるだけでなく、それらのデザインが、一時的なトレンドで終わることな



図 インクルーシブ、アダプティブデザインを体現したプロダクト
a: ケアウィル社のアームスリングケープ。アームスリングとケープが一体化しており、亜脱臼を有する麻痺手や骨折した上肢の重みを服の生地全体で支えるようにデザインされている。b: SOLIT 社のシャツ。腕の動きを邪魔しないラグランスリーブや片手でも操作しやすいマグネットボタン、袖ボタンを有さないゴムによる袖口等がデザインされている。
両プロダクト共に、デザインの方で、障がいと共に生きる方も一般の方も同等におしゃれを楽しめるインクルーシブかつアダプティブなデザインを体現している

く、恒久的に世の中に浸透することが求められている。

こういったインクルーシブ、アダプティブファッションの世界的な流れは、個性性の結晶である「作業」を生業とする OT にとって、必要不可欠な知識である。本項では、本邦において、これらの問題解決に挑む 2 社の先進的な取り組みを紹介する。OT がインクルーシブ・アダプティブファッションに参画する事となることを期待したい。

文献

- 1) RESRT Bland Homepage: OUR STORY. <https://www.resetadaptive.com/about-us> (2022年6月28日参照)

■ファッションでクライアントと OT の未来を豊かに

笈沼 清紀

ブランド名「ケアウィル」は、care+will。「ケア」を必要とする方の「意思(ウィル)」を第一に導

直し、ファッション性と機能性を併せもつ製品を企画販売している。

2021 年度グッドデザイン賞を受賞した「アームスリングケープ(図 a)」は、クライアント 23 名(上肢麻痺、亜脱臼、骨折、腱板断裂等)へヒアリングを繰り返すなか生まれた。質問項目は OT と PT 監修のもと、ICF の活動: 更衣、洗濯と、参加: 外出、慣例等に基づき作成され、動作は深く観察された。結果、傷病、年齢、介護度、障害程度を限定しない共通機能として、「片手で着脱」、「長時間着ても首を痛めない」、「歩行時も腕が安定」、「しわにならない」、「速乾」が導出された。デザイナーはそれら機能を衣服に取り入れながら、「外出」、「コーディネート」も楽しめるファッション性ある造形を実現した。

この製品以外にも重度の麻痺や高次脳機能障害がある方向けの衣服やオーダーメイド服をオンラインと病院や施設連携により販売している。近夏は衣生活を幅広く支援する道具も発売予定である。

当事業では急性期、回復期、療養型病院を経験し、建築デザインを学んだ OT が活躍している。2022 年 5 月には ICF に基づく「服の不自由の評価法」研修会を宮崎身障勉強会と共催した。これは疾患情報や服との物語を基に、クライアントの活動と参加に伴う服の不自由と価値観を考察する研修で、今後、病院や学校等で実施を

控えている。衣服は、選ぶ、着る、脱ぐ、洗う。たまた、収納するという多くの作業に登場する。また、個人的価値観の象徴で、意思表示の手段でもある。それらを支援する OT は当社の最も重要なパートナーであり、今後も深い関係を築くとともに、クライアントと OT の未来を豊かにする選択肢の創造に努めたい。

■入院生活のリ・デザイン

大門 恭平

インクルーシブファッションとは、障がいの有無や年齢、性別等にかかわらず、すべての人を孤立させず、包括することを目指すファッションのことである。これまで社会から排除されてきた人々を開発段階から巻き込み、共にデザインしていく過程が特徴である。

今回、私が所属する SDX 研究所と SOLIT 株式会社、岸和田リハビリテーション病院が共同でリハウェア「odekake」を開発するに至った。

私は PT である。病院に勤務していた際、病衣で「屋外に行きたくない」、「誰にも会いたくない」といった発言を、多くの患者から聞いた。つまり衣類は間接的に患者の活動に影響を与えるものだと感じていた。

2021 年に内閣府が行った「高齢

製品概要

アームスリングケープ

・販売実績(2024年2月4日時点) : 314着
内訳

・対象者の傷病・障がい別

脳血管障害(脳出血、脳梗塞等) : 77%

肩・腕の整形疾患(腱板断裂・損傷、
石灰沈着性腱板炎、前腕・鎖骨骨折) : 19%

その他(リウマチ、乳がんなど) : 4%

・個人 : 法人(対象者ご紹介もしくはご購入)比率…76% : 24%

・サイズ : 女性用フリーサイズ(M-L兼用)

・素材 : ポリエステル95%、ポリウレタン5%

・色 : ネイビー、グレー

・生地特性 : 速乾、伸縮、しわ防止

・重量 : 330g

・取り扱い : 平干し、洗濯ネットを利用して裏返して洗濯、クリーニング不可



・受賞

グッドデザイン賞2021 (日本デザイン振興会)

JIDAデザインミュージアムセレクション2022

(日本インダストリアルデザイン協会)

令和四年度かわさき基準認証福祉製品 (川崎市)

おもてなしセレクション2022 (おもてなしニッポン)

・採択事業

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進

補助金 特別枠 (中小企業庁)

障害者向け製品等の販路開拓支援事業

(東京都中小企業振興公社)

・知的財産権

特許7168251、意匠登録1704310

乾燥機でつかえる洗濯ネットバッグ

・販売実績(2024年2月4日時点) : 442個
内訳

・対象者の傷病・障がい別

特定の傷病・障がいなし : 66%

肩・腕の整形疾患(腱板断裂・損傷、
石灰沈着性腱板炎、前腕・鎖骨骨折) : 20%

その他(リウマチなど) : 14%

・個人 : 法人(対象者ご紹介もしくはご購入)比率… 82% : 18%

・サイズ : 1サイズ、縦30cm-横28cm-高さ30cm、7.0リットル

・素材 : ポリエステル100%

・色 : ホワイト

・生地特性 : 速乾、伸縮、水浸透、耐熱

・重量 : 150g

・取り扱い : 乾燥機可



・受賞

グッドデザイン賞2022 (日本デザイン振興会)

おもてなしセレクション2022 ANA賞

(おもてなしニッポン)

・採択事業

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進

補助金 (中小企業庁)

障害者向け製品等の販路開拓支援事業

(東京都中小企業振興公社)

・知的財産権

意匠登録1729472、特願2022-127744

製品ご購入方法

・オンライン販売サイト

ブランドサイト **carewill**
<https://www.carewill.co.jp/collections>



アマゾンジャパン **amazon.co.jp**
<https://amzn.to/3yaSk4C>



ふるさと納税 **ふるなび**
https://furunavi.jp/product_detail.aspx?pid=896855



ヤフー **YAHOO! JAPAN**
<https://bit.ly/3SYz0RB>



マクアケストア **Makuake STORE**
<https://store.makuake.com/collections/carewill2>



アマゾンUSA **amazon.com**
<https://a.co/d/3oMY3KW>



・お支払い方法

現金払い以外のすべて ※対面販売では現金払いを承っております

・お届け

配送料 : 無料

配送先 : ご自宅、病院・施設・事業所などご指定の場所へ、日本郵便等により配送
海外発送可

・その他

特定商取引法に基づく表記 <https://www.carewill.co.jp/pages/law>

carewill

ケアウィルは川崎市と
あらたな福祉製品を共創しています！

車いす用レインウェア



COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!
いるいるって、未来。
川崎市



KNICK KNACK CO.,LTD.

- 市制100周年を記念する『川崎発！福祉の未来をカタチに』の製品選ばれました
- 今後7か月をかけて、当事者、川崎ウェルテック（産総研・東工大）、リハビリ病棟・施設、日本臨床作業療法学会、川崎市内メーカーとの協創により製品開発が進められます

アームスリングケープ



かわさき基準（KIS）
認証福祉製品



- 川崎市『令和四年度 かわさき基準（KIS）認証福祉製品』に選ばれました
- 現在、260名の対象者様にご購入頂いています（2023年6月末現在）
- 製品導入に際しては、川崎市から購入等に掛かる費用の半額（最大30万円）が補助されます



GOOD DESIGN
AWARD 2021

「洋服の不自由」を解決する

挑戦者 2023



おおいぬま きよのり
1981年東京都生まれ、学習院大学経済学部経済学専攻卒業。日本総研でITコンサルタント(SMB/IT)とマーケティング(中)を経験した後、米国でMBA(経営学修士)を取得。楽天、JINS(ジンス)、KDDIで経営企画とEコマース戦略立案・実行などに従事。2019年にケアウェアを設立。

企業概要
事業内容：ケア衣料の開発・販売
本社所在地：東京都豊島区
設立：2019年9月
資本金：50万円
従業員数：2人

ケアウェアCEO

笈沼 清紀

「体の不自由」ではなく「服の不自由」に注目し、ケア衣料の形状・素材・着心地を追求する。
(聞き手＝市川明代・編集部)

障 音やケアによって既存の服に不自由を感じてしまう人にも、洋服を着る楽しさを保ちつつも、着ることを目標に、ケア衣料の開発・生産をされています。主力のチームスリムフィットは、上肢の片まひのほか、亜脱臼、腱板断裂、四十肩などによって腕の上げ下げの際に痛みを感じる人のための、腕を支えるチームスリムフィットとケアを一体化させた商品です。痛みのある方の腕を内袋に通し、もう片方の手で襟ぐりをつかんで頭からかぶるだけで簡単に着ることができ、裏地に滑りの良い素材を利用していることで、「背中」に手を回して後ろの肩を引っ張る」といった厄介な作業も不要です。起業のきっかけとなったのは、父の認知症病棟への入院でした。老人ホームにいた頃は、長く洋裁の講師を務める母が着脱しやすいうようにアレンジした服でオシヤレを乗しこんでいた父が、決められた入院着を着るようになって元気をなくしてしまいました。「本人の尊厳を守りつつ、自立的に生活できる機能を兼ね備えた服を作れないか」と考えるようになりました。

父が亡くなって半年が過ぎた2019年の春、山手線の車内で偶然、東京都主催のビジネスコンテストの中つり広告を見つけ、背中を押されました。理想の入院着を試作してプレゼンし、入賞。テレビ中継を見た、石匠沈着性腱板炎を患う女性から「片手で着られて、楽に袖に腕を通せる服が欲しい」というメールが届き、母と一緒に女性宅に採寸に向かいオーガーマードの服を作りました。それがケアウェアの第一歩になりました。

20年、新型コロナウイルスによってビジネスモデルの転換を迫られます。採寸のために自宅を訪ねることができなくなったのです。オーガーマードは製作に何日もかかり、採算が取れないという課題もありました。多くの人が感じる共通の「服の不自由」を見いだせれば、量産できるはず。肩にアヒヤ傷病を抱える人たちに徹底的にヒアリングをして見えたのは、袖を通す、後ろ身頃を引っ張る、といった作業の難しさでした。腕を支えるのに使う三角巾やチームスリムフィットは、ひもが肩に食い込み、痛みにつながることもわかりました。試作を重ね、装飾を一切排除して軽量化したチームスリムフィットができました。紺とグレーの2色展開で1万4300円(税込)。アロンソなどで1300円以上売れています。

子どもの頃、父が統合失調症を患いました。母の負担を減らしたい一心で、日本総研のITコンサルタント、楽天やJINSの執行役員、KDDIの革新担当部長……とキャリアを重ねてきました。豊富なビジネス経験が、起業後に生きています。

いまま産の準備を進めているのは、洗濯用ネットと脱衣カゴを一体化させた洗濯ネットボックスです。洗濯機の中で絡まった衣類を引っ張り、物干し竿にかける、という一連の作業がきついという声をもとに開発した商品は、子育て中の女性からも注目されています。

これからも、ケアを必要とする人々を感じる不自由を解消する商品を作り出していきます。



纏めてある方の腕を袋状のスリムフィットに通し、もう片方の手で襟ぐりをつかんでかぶる

秋季総合特集V 新市場の開拓を

ケア衣料で独自領域を 知財、ブランディングに注力

ケアウェア(東京豊島区)が開ける「ケアウェア」は「服の不自由を解決する。傷病のある人」を「着たい、選みたい、着

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発



グッドデザイン賞を受賞したアームスリングケープ

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

西日本新聞 2022年3月2日 / 岐阜新聞 2022年3月6日 / 河北新報 2022年3月31日

西日本新聞 河北新報 岐阜新聞

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

機能+ファッション性を強化

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発



「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

繊維ニュース

www.sen-i-news.co.jp

シルバー新報 2022年11月11日

CareTEX 福岡 '22 閉幕
九州最大の商談型展示会
ブティックス

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

シルバー新報 2023年10月23日

自立する、丸ごと洗える
「洗濯ネットバッグ」
=ケアウェア=

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

西日本新聞 2022年3月2日 / 岐阜新聞 2022年3月6日 / 河北新報 2022年3月31日

西日本新聞 河北新報 岐阜新聞

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

「着たい、選みたい、着たい」という思いに答えるケアウェアのブランド「ケアウェア」の開発と販売によって新市場を開拓を目指している。設立は2019年。発

STYLE & DESIGN | ON DESIGN

Japan's award-winning travel goods make any trip a breeze



An Omotenashi Selection Gold Award winner, the Maimo Color You suitcases are each fitted with a USB port and extra-quiet replaceable wheels. | COURTESY OF MAIMO & OMOTENASHI SELECTION

BY MIO YAMADA
CONTRIBUTING WRITER

Feb 18, 2023
12 SHARE

Since 2015, the [Omotenashi Selection](#) project has highlighted a broad range of regional products and services with the aim of internationally promoting Japanese innovations in design and hospitality. As the initiative prepares to judge the first round of 2023 applicants for the now-biannual event, On: Design looks back on its most recent winners and, in the spirit of the award's global aspirations and Japan's reopened borders, picks three items great for travel.

Caring design

Though not specifically designed as a travel product, the Carewill [Laundry-net Bag](#) is just as useful on a trip as it is at home. A winner of the Omotenashi Selection Special Distinction ANA Award, it's also a good example of effective universal design.



Designed by Daisuke Kaneda and Ken Okamoto Design Office for Carewill Inc., the Laundry-net Bag can be zipped up full of clothing and tossed into a washing machine as is. | COURTESY OF CAREWILL & OMOTENASHI SELECTION

[Carewill](#) is a brand with a unique objective: "to solve the inconvenience of clothing." Since 2020, the company has launched a cape and a shirt to aid people with arm injuries or disabilities. Its Laundry-net Bag (¥4,400) was developed to make washing clothes easier for those suffering limb and joint mobility issues, such as rheumatism, partial paralysis or injuries.

Designed by [Ken Okamoto Design Office](#), the Laundry-net Bag is a 30-centimeter-tall tote that can be used as a laundry basket before being tossed — with clothing inside — straight into the washing machine. The bag opens out wide to stand upright on its own and can hold up to a day's worth of clothing before being zipped shut and washed. According to Carewill, washing garments inside the bag prevents them from getting tangled, making it less strenuous to sort and hang laundry later. The bag's handles also allow it to be easily removed from the machine, while its lightweight netting is flexible enough to fold for compact storage.

Aesthetically, it's simple, a little like a net version of an old-fashioned bowling bag. Its functionality of design, however, won it not only an Omotenashi Select award, but also a 2022 Good Design Special Award.

Source:

<https://www.japantimes.co.jp/life/2023/02/18/style/on-design-omotenashi-travel-awards/>

Tokyo Weekender 2023年3月2日



≡ Q

TW



FASHION | JAPAN LIFE | TW COLLAGE

Practical Products For Those With Arm Injuries
BY WEEKENDER EDITOR

Let us give you the lowdown on some practical and hygienic products for those with injuries. From capes to multi-use washing bags, we have you covered.



Award-winning Laundry-net Bag makes the washing process easier for everyone

This product combines the functions of a laundry basket and a washing bag to make the whole process of washing clothes easier for everyone. Drop your dirty clothes inside and close the bag's zip before you put it in the wash, to protect the clothes from tangling and stretching. When the load is complete, use the handles to carry the bag to the washing line.

The Laundry-net Bag was developed in conjunction with people suffering problems such as limited mobility of finger, hand or shoulder joints due to rheumatism, injury or paralysis. Many users emphasized that the act of doing laundry plays a fundamental role in regulating a healthy and hygienic lifestyle. The company, then, created this product in response.

The bag's handles are large enough to place your forearm through and they can also be used to hang the bag on a hook at a convenient height.

You don't even need to remove clothing from the bag to dry, which is why it's a small, but significant, revolution in our daily lives.

Laundry-net Bag by carewill, INC.

<https://www.carewill.co.jp/en/products/laundry-net-bag>

Created based on the needs of patients with temporary or longer-term arm injury is the Arm Sling Cape from carewill, INC. The product has an inner pocket that holds the weak arm just like a traditional triangular arm sling but is also easily pulled over the head to be worn as a short cape. The design protects the arm without drawing attention to the injury.

The cape was created after interviews with more than 20 people who had been receiving treatment from occupational and physical therapists for problems including paralysis, frozen shoulder, damage to the shoulder's rotator cuff, joint dislocation, bone fracture and rheumatism. The product, therefore, incorporates first-hand experiences of target users.

The cape can be used for either arm. An elastic band sewn into the back distributes the weight of the arm across the shoulders and back to stabilize the arm and prevent fatigue and neck pain, even when worn for long periods.

It comes available in two color options (navy and gray) and is also, conveniently, a one-size-fits-all garment made from a smooth fabric that makes it easy to slip over the head, and take it off again, using just one arm.

Arm Sling Cape by carewill, INC.

<https://www.carewill.co.jp/en/products/armslng>



Tokyo-based carewill, INC. crafts the revolutionary Arm Sling Cape to protect the arm while distracting from its injury

Source:

[Practical Products For Those With Arm Injuries | Tokyo Weekender](#)

製品展示

展示会

- 2022.10.27 池袋西武
『くらしのデザイン展』(東京)
- 2023.1.20 日本インダストリアルデザイン協会 受賞展示(東京)
- 2023.3.2 東京都 福祉用具・新製品展示会(東京)
- 2023.3.16 「かわさき基準認証福祉製品 (KIS)」授与式(川崎)
- 2023.3.25 ATCエイジレス博(大阪)
- 2023.5.30-6.21 信州新町美術館(長野)
- 2023.6.8-10 Medical Taiwan(台北)
- 2023.7.23 Tokyo Startup Gateway2023 Starting Day(東京)
- 2023.9.25 川崎基準製品体験展示会
- 2023.11.12 湘南慶育病院 慶育祭(神奈川県)
- 2023.12.22 川崎KIS認証製品体験展示会(神奈川県)
- 2023.12.26 経済産業省・東近江市 高齢者関連製品安全公演イベント(滋賀)

病院

- (医)真正会 霞が関南病院(埼玉)
- (医) 健育会 湘南慶育病院(神奈川)

学会等

- 2023.7.8 九州作業療法学会(鹿児島)
- 2023.10.13 山形県作業療法学会(山形)
- 2023.10.15 秋田県作業療法士会
『服の不自由』研修会(秋田)
- 2023.12.17 宮崎県作業療法学会(宮崎)

ポップアップ

- 2022.10.27 グッドデザインストア(東京)
- 2023.4.11-30 台湾製品生活(東京)
- 2023.10.29 脳卒中フェスティバル(滋賀県 東近江市)

学校

- 宮崎保健福祉専門学校(宮崎)
- 帝京平成大学(東京)
- 田園調布学園大学(神奈川)
- 女子美術大学(東京)



(医)真正会 霞が関南病院
(埼玉県 川越市)



(医) 健育会 湘南慶育病院
(神奈川県 藤沢市)



ATCエイジレスセンター
(大阪府 大阪市 ATC)



グッドデザイン賞審査
(愛知県 国際展示場)



(公社)日本インダストリアル
デザイン協会 受賞展示
(東京都 港区 AXIS)



グッドデザインストア
(東京都 豊島区 池袋東武百貨店)



グッドデザイン賞審査
(愛知県 愛知国際展示場)



宮崎保健福祉専門学校
(宮崎県 清武町)



台湾『誠品生活』
(東京都 中央区 コレド室町)



「信州新町美術館」
(長野県 信州新町)



帝京平成大学 健康メディカル学部
(東京都 豊島区)



かわさき基準認証福祉製品2022 授与式
(神奈川県 川崎市)



脳卒中フェスティバル
(東京都 墨田区)



九州作業療法学会2023
(鹿児島県 鹿児島市)



東京都 福祉用具・新製品展示会
(東京都 新宿区)



秋田県作業療法士協会研修会
(秋田県 秋田市)



- (医)真正会 霞が関南病院(埼玉)
- (医) 健育会 湘南慶育病院(神奈川)



湘南慶育病院 慶育祭 (香川県 藤沢市)



ATC エイジレス博 (大阪府 大阪市 ATC)



宮崎県作業療法学会 (宮崎県 宮崎市)



崎KIS認証製品体験展示会 (神奈川県 川崎市)



田園調布学園大学 (東京都 杉並区)



経済産業省・東近江市
高齢者関連製品安全公演イベント
(滋賀県 東近江市)



Tokyo Startup Gateway2023
(東京都 千代田区 東京国際フォーラム)



CareTex福岡2022
(福岡県 福岡市 マリンメッセ福岡)



メディカル台湾
/Medical Taiwan 2023
(台北市 台北南港第二展示ホール)